



梶井半之助
美木 良介



お民
藤田 朋子



はま
山本 陽子



梶井良左衛門
平成二十四年度
松竹特別公演
江原真一郎

どの枝も
初めて花を咲かせるような新しきで、
活き活きとー。

この梅には、また、
つぼみがふくらみかけています。



森田久馬
井上 恭太



かね
甲斐 京子

初葉田

はつつぼみ
二幕

山本周五郎 原作
橋田壽賀子 脚本
石井ふく子 演出

製作
松竹



お力
菅川よしみ

栃木市大平文化会館

平成24年 **9月9日** (日)

開場-14:30 開演-15:00

全席指定 4,000円
(栃木市文化協会会員3,500円)

・未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。
・前売で完売の場合、当日券はありません。

前売り開始日 6月8日(金)

【主催】 栃木市・栃木市教育委員会・松竹株式会社
【共催】 エイフル企画株式会社
【協賛】 群馬テレビ株式会社

- 入場券前売所
- 栃木市大平文化会館 0282 (43) 5231
 - 栃木市栃木文化会館 0282 (23) 5678
 - 栃木市藤岡文化会館 0282 (62) 4321
 - 栃木市都賀文化会館 0282 (27) 8855
 - ブラッツおおひら 0282 (43) 0388
 - ゆうゆうプラザ(四季彩の湯) 0282 (45) 2601

電話予約は、大平文化会館のみで受付(0282-43-5231)、
発売日の翌日9:00~17:00。

【お問い合わせ】 栃木市大平文化会館(火曜日~土曜日)
☎ 0282(43)5231

山本周五郎 原作
橋田壽賀子 脚本
石井ふく子 演出

初薔

はつづぼみ

二幕

解説

恒例となりました松竹の八月九月の全国公演、平成二十四年度は山本陽子を中心に、藤田朋子・芦川よしみという女優陣、男優陣と致しましては、江原真二郎・美木良介という松竹特別公演初お目見えの豪華メンバーが揃いました。

演目は昭和の文豪であり、いまなお多くの読者に愛される山本周五郎の名作「初薔」をお届けします。貧しい境遇で育ったお民が梶井はまを始め周囲の人々の温かさに触れ、成長して行く姿を描いた心暖まる物語です。

脚本は橋田壽賀子、演出に石井ふく子という幾多の傑作を生み出した名コンビが「優しさ」と「思いやり」そして人間同士の「信頼」をテーマに、老若男女を問わずじっくりと鑑賞頂ける傑作舞台を作り上げます。

演出	盛田光紀	美術	中嶋正留	照明	北内隆志	音楽	佐良直美	効果	森本義	衣裳	石井ふく子	衣裳デザイン	小泉清子	邦楽指導	堅田喜三代	舞台監督	古山昌克	同僚	片岡正俊	制作事務	竹田原亜紀	制作協力	大迫辰己	制作	松本康男	同	吉村理恵
----	------	----	------	----	------	----	------	----	-----	----	-------	--------	------	------	-------	------	------	----	------	------	-------	------	------	----	------	---	------



市村新吾



浅利悦子



川和郁子



松村沙瑛子



大野梨栄

あらすじ

志摩のくには二見浦の料亭「ふじむら」で茶屋女として奉公するお民(藤田朋子)は貧しい境遇に生まれ育つ。お民の心の支えは「ふじむら」の客として通う、藩士・梶井半之助(美木良介)だった。所詮は住む世界が違うと、恋心を抱きながらも夫婦になるのはかなわぬことと諦めていたお民。やがてお民は半之助の子を身ごもってしまう。

「ふじむら」の女将・お力(芦川よしみ)はお民に子供のことを半之助に打ち明けるように説得する。そこへ半之助が同僚の森田久馬を斬ってしまったと飛び込んで来る。森田にお民との仲を論され対立したというのだ。同僚に刃を向け怪我をさせてしまった事を後悔した半之助は、己を叩き直すために江戸を出る決意を固める。お民は妊娠を告げられないまま、半之助は江戸を出立してしまう。

半之助の一件により、職を退き山家で隠居生活を送る半之助の両親・梶井良左衛門(江原真二郎)、はま(山本陽子)の夫婦はある日、家の庭先で赤ん坊を拾う。夫婦は半之助がどこかで人の情けを受けて暮らしているのならば、この赤ん坊を育てるのもまた巡り合わせと、赤ん坊を育てる決意をする。良左衛門・はま夫婦に乳母のあてを頼まれたお力はお民を紹介する。育ちの悪いお民に武家の乳母がつとまる筈も無く、毎日のように、はまに厳しく咎められ、躰けられることに。しかし、お民はどんなに厳しくされても赤ん坊にだけは愛情の限りを注いでいるように見えた……。